

# 普及適用性試験成績 記入例(畑作・冬作(麦) 除草剤)

畑作・冬作(麦) 除草剤用

薬剤名: ○○○液剤

対象作物: △△△

県名	実施場所	区別	品作種型	土質性	播種または定植期	初期除草剤			中・後期除草剤			発生状況 草丈・葉令	除草効果(草種別残草量 g/m <sup>2</sup> )				薬害		総合評点	備考 (特記事項)
						薬剤名	処理時期	薬量(水量)	薬剤名	処理時期	薬量(水量)		イネ科一年生	非イネ科一年生	多年生雑草	総計	症状程度	収量比対慣行		
○○県	△△普及センター	実験	□□□ 耕起栽培	火山灰土 壇壤土	耕起 5月29日  播種 6月1日	○○○ 液剤	6月5日 播種後 出芽前	250ml (50L) /10a				処理時の雑草 (主要雑草名・ 葉齢を記載下さい。 雑草が発生していない場合は、 「雑草発生前」と記入して下さい。	メヒシバ 10cm イヌタデ 10cm シロザ 5cm ギシギシ 15cm	メヒシバ 1.5 シロザ 3.0 (イヌタデ 18.5)	ギシギシ 5.5	生重 10.0g (85%)	なし	95%	A	圃場面積:30a  実用性について コメントして下さい。  雑草調査日:6月25日 (処理20日後)
						××× 水和剤	6月5日 播種後 出芽前	300g (100L) /10a				メヒシバ 12cm イヌタデ 10cm イヌビユ 10cm ギシギシ 8cm	メヒシバ 0.8 イヌビユ 2.5 (イヌタデ 15.6)	ギシギシ 8.5	11.8g (100%)	なし	100%			

薬剤の処理方法または処理に用いた機器を記入して下さい。

試験薬剤散布後に、他の除草剤を散布した時は、中・後期除草剤欄にその薬剤について記載下さい。試験薬剤を、他の除草剤を散布した後に散布する薬剤の場合(土壌処理剤との体系処理など)は、初期除草剤欄に前処理剤を記載し、試験薬剤を中・後期除草剤欄に記載下さい。

ここは必ず、記入例と同じ幅の隙間を空けて下さい。

無処理区で発生した雑草を記入して下さい。

対象外の雑草は( )書きにし、総計には含めないで下さい。

対象外の雑草は総計には含めないで下さい。

乾物重・生重のいずれかを記入して下さい。

\* 非対象雑草は( )でくり総計から除く。風乾重か生体重かを明記する。  
総合評点の欄 A: 除草効果・薬害の面で普及上特に問題はない  
B: 普及にあたって更に検討する必要がある  
-: その他(特別な理由により判定できない場合)

- ※ 書ききれない時は、行を挿入しても構いません。
- ※ 成績はB4サイズの用紙に印刷して提出して下さい。